

令和7年度

第3回 豊見城市地域公共交通協議会

【令和7年度総合交通戦略の個別施策の実施】

-
- 3-1. 市内一周線（105番）利用実態調査について
 - 3-2. パーク＆ライド実証実験に向けた検討について
 - 3-3. 学校教育におけるモビリティマネジメント（MM）について
 - 3-4. シェアサイクル事業について
-

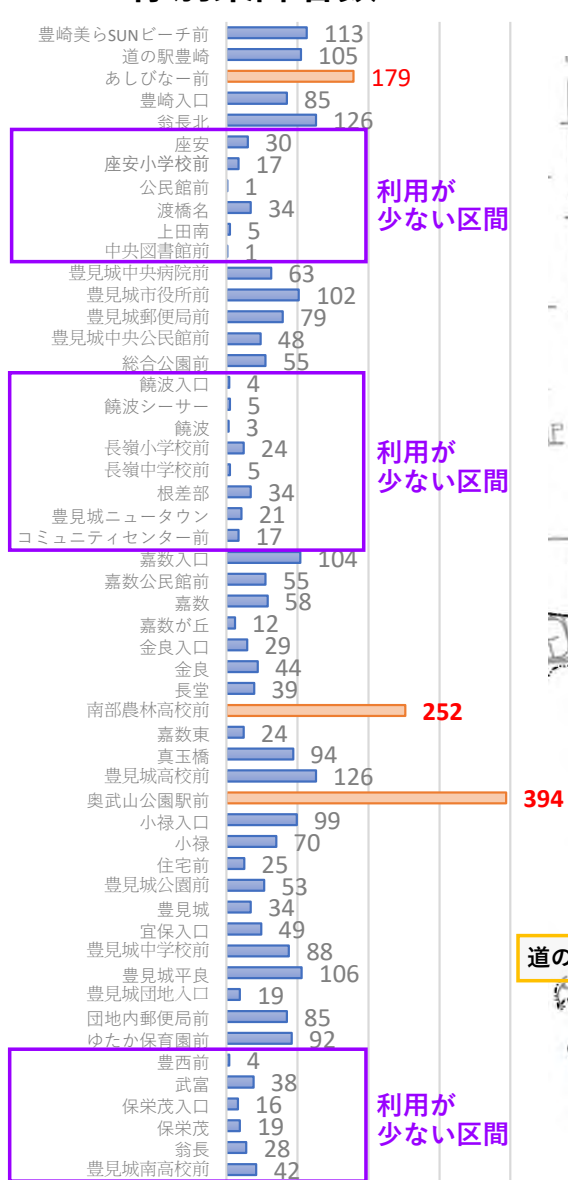
令和8年2月4日
豊見城市 都市計画課

3-1. 市内一周線（105番）利用実態調査について

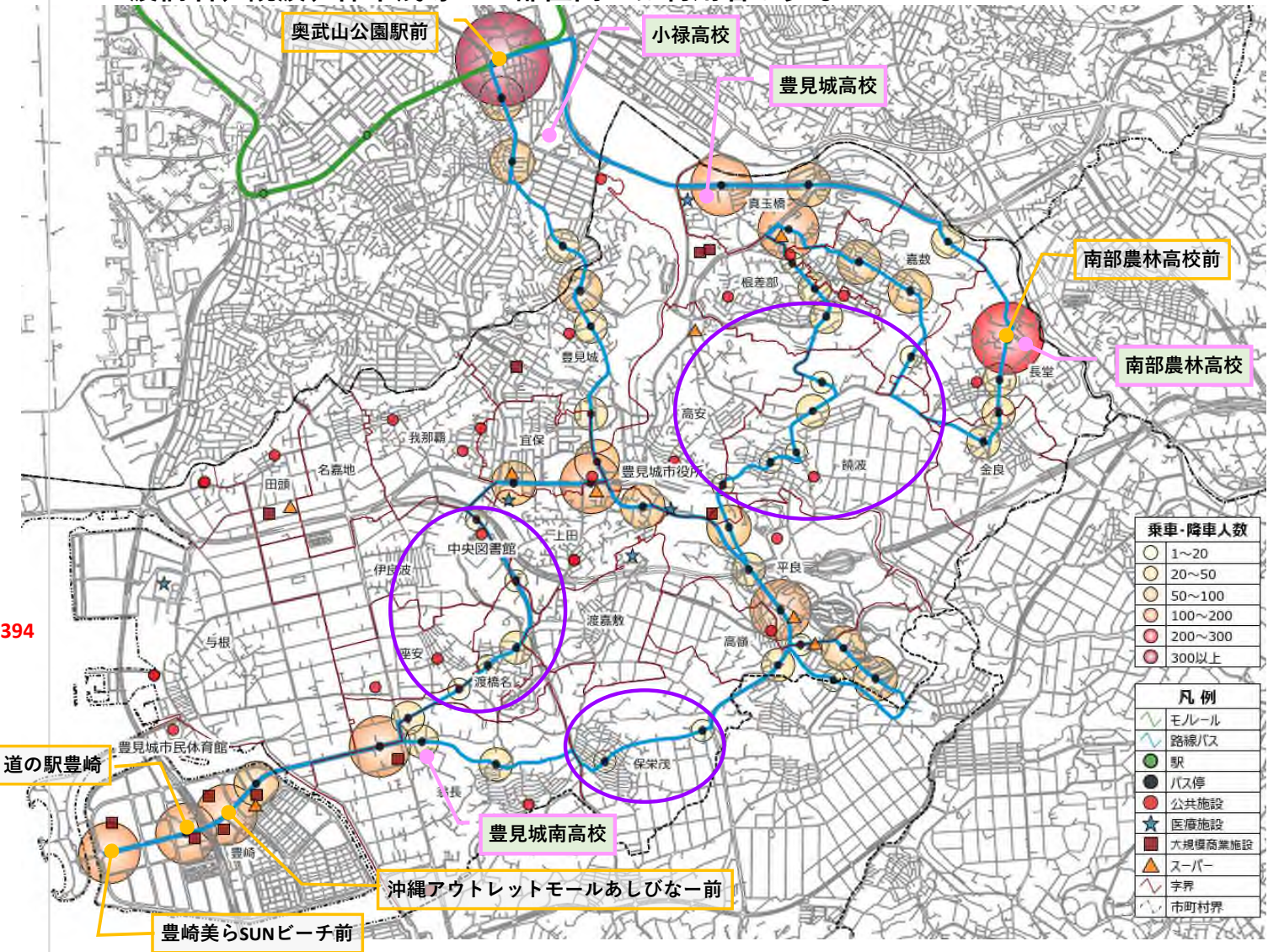
(2) 過年実態調査結果(令和6年度の分析結果)

■ バス停毎の利用者数をみると、奥武山公園前、南部農林高校前及び沖縄アウトレットモールあしびなーの利用者数が顕著。(通勤・通学時の利用をはじめ、観光客等の利用が想定される)

■ バス停別乗降者数



* 奥武山公園前駅から那覇市方面への乗換、高校や大型側商業施設周辺に利用が多い
* 渡橋名、鏡波、保栄茂等の一部区間では利用者が少ない

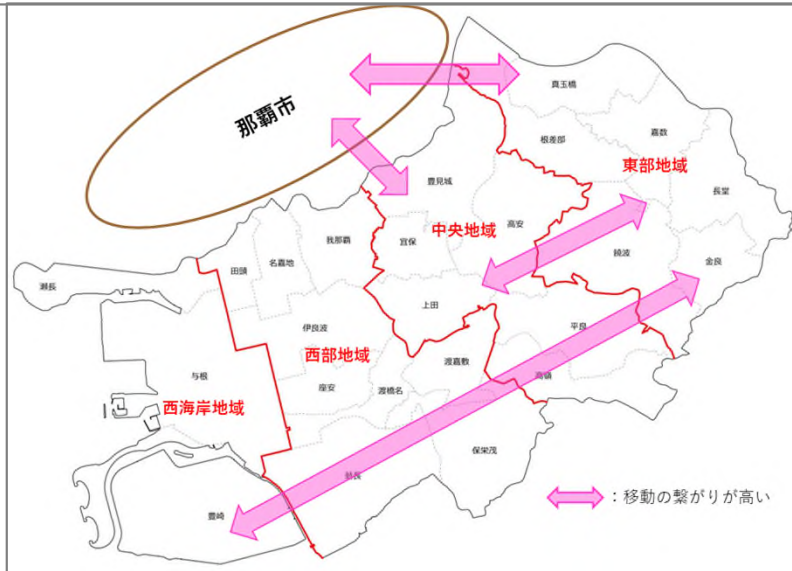


3-1. 市内一周線（105番）利用実態調査について

(2) 過年実態調査結果(令和6年度の分析結果)

参考：OD別年齢構成

- ・市内々では高校生～小学生、市内外では大人の割合が高い。
- ・地域別移動では東部と西海岸及び中央は高校生～小学生の割合が高い。
- ・市外とでは中央が大人、東部が高校生～小学生の割合が高い。

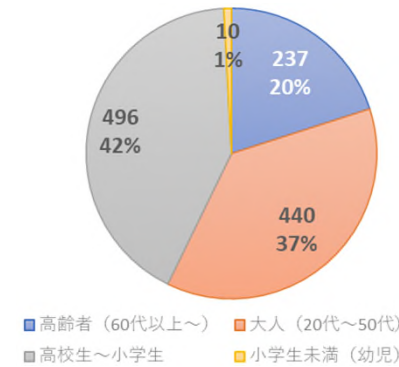


■ 区域内々・内外移動

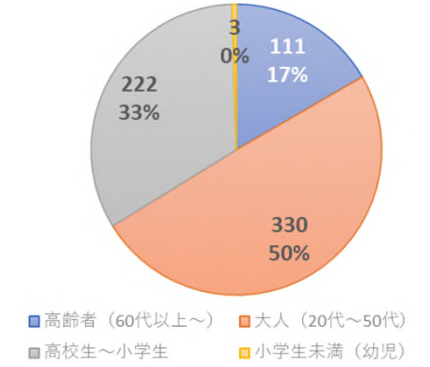
- ・那覇市との繋がりでは東部および中央地区が他の地区に比べ高い。
- ・中央及び東部地区では、他の地区に比べ区内々移動での利用が多い。
- ・西部地区の利用者は他の地区に比べ少ない。

地域区分	西海岸	西部	中央	東部	市外
西海岸	2	27	87	112	65
西部	30	7	59	38	32
中央	75	50	95	132	112
東部	161	51	181	69	105
市外	47	26	152	127	4

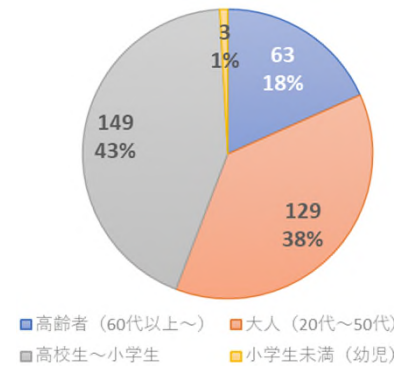
① 市内⇔市内



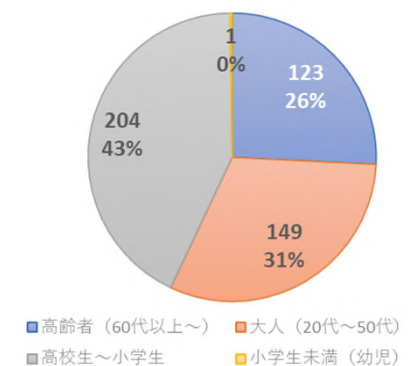
② 市内⇔市外



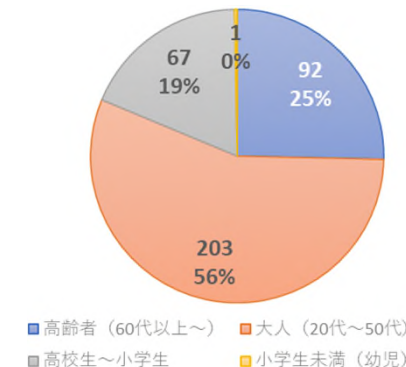
③ 西海岸⇔東部



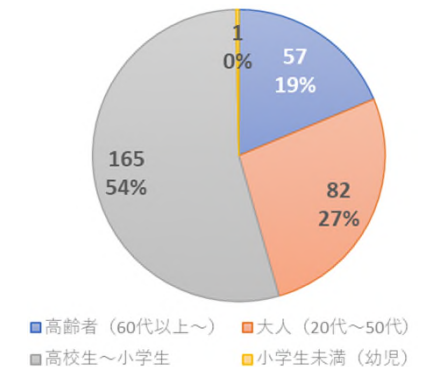
④ 中央⇔東部



⑤ 中央⇔市外



⑥ 東部⇔市外



(3) 令和7年度 実態調査概要

- 市内一周線(105番)の利用実態を詳細に把握する目的として、バス内内に調査員を配置し利用者へのアンケート調査を実施
- 属性、バス停間ODの他、利用目的及び利用頻度を把握

① 調査目的

- バス車内へ調査員を配置し、市内一周線利用者へのアンケート調査を実施、乗車バス停、降車バス停を把握するとともに、利用目的及び利用頻度等も合わせて把握する。
- 人手不足等による減便がみられるなかで、継続的なバスの運行を目指し、効率的な輸送環境の構築を目指す

② 調査期間

- 休日：令和8年1月18日（日）
- 平日：令和8年1月20日（火）



③ アンケート項目

項目	
1	利用者属性 ・性別 ・年齢 ・職業 ・居住地 ・自由に使えるクルマ
2	利用区間 ・乗車バス停 ・降車バス停 ・他の交通機関との乗り継ぎ
3	目的地 ・目的地（施設名） ・目的 ・市内一周線の利用頻度
4	12月のダイヤ改正にともなう日常移動の変化
5	自由意見

豊見城市内一周バス(105番) 利用実態調査
 豊見城市内一周バス(105番)の利用実態を把握し、利便性向上を図るための基礎資料収集を目的とした利用者アンケート調査を実施しています。
 大変恐れますが、下記アンケートにご協力をお願いします。
【実施主体：豊見城市都市計画課 豊見城市バス建設部（TEL：098-876-4790）】

1 あなたのことについて、うかがいます。

性別	<input type="checkbox"/> 1 男性 <input type="checkbox"/> 2 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 10代以下 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上
職業	<input type="checkbox"/> 1 会社員・公務員等 <input type="checkbox"/> 2 自営業 <input type="checkbox"/> 3 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 4 小学生 <input type="checkbox"/> 5 中学生 <input type="checkbox"/> 6 高校生 <input type="checkbox"/> 7 大学生等 <input type="checkbox"/> 8 パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 9 無職 <input type="checkbox"/> 10 その他()
居住地	<input type="checkbox"/> 1 豊見城市 : 町字 <input type="checkbox"/> 2 県内→ 市・町・村 <input type="checkbox"/> 7 県外→ 県
自由に使える車	<input type="checkbox"/> 1 ない <input type="checkbox"/> 2 ある

2 このバスを利用する区間はどこですか。

乗ったバス停	_____
降りるバス停	_____
交通機関との乗継	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 モノレール <input type="checkbox"/> 3 路線バス(番)

3 このバスで行く場所やそこへ行く目的を教えてください。

行く場所	施設名、地名等、 _____
そこへ行く目的	<input type="checkbox"/> 1 通勤 <input type="checkbox"/> 2 通学 <input type="checkbox"/> 3 仕事・業務 <input type="checkbox"/> 4 通院 <input type="checkbox"/> 5 買物 <input type="checkbox"/> 6 娯楽・飲食 <input type="checkbox"/> 7 観光 <input type="checkbox"/> 8 帰宅 <input type="checkbox"/> 9 その他 ()
利用頻度	<input type="checkbox"/> 11 ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 12 週に1-5日 <input type="checkbox"/> 13 週に2-3日 <input type="checkbox"/> 14 週に1日 <input type="checkbox"/> 15 月に2-3日 <input type="checkbox"/> 16 月に1日以下

→裏面もお願いします

4 市内一周バス(105番)は、2025年12月にダイヤが変更となりました。これにより、あなたの日常生活に何か変化がありましたか。

1 利用したい時間が合わなくなり、バスの待ち時間が長くなった。
 2 他の交通機関との乗り継ぎ時間が合わなくなり、待ち時間が長くなった。
 3 行き又は帰りに他の交通手段を便りようになった。
 4 通勤、通学時間及び帰宅時間等が利用しやすくなった。
 5 送迎が不要になった又は回数が減った。
 6 特に変化はない
 7 その他 ()

5 市内一周バス(105番)に関して、ご意見・ご要望等ございましたら、自由にご記入ください。

(西暦記入欄)
 調査日 月 日
 総番号廻り (1 便 2 便 3 便 4 便 5 便 6 便)
 日線乗戻廻り (1 便 2 便 3 便 4 便 5 便 6 便)

3-1. 市内一周線（105番）利用実態調査について

(4) 令和7年度 実態調査結果

- アンケート調査日の市内一周線(105番)の利用者数は平日252人、休日115人
- 平日、休日共に利用者属性の性別、年代の割合は概ね同じ傾向
- 利用者の約6割が女性となっており、年代別では10代が最も多く20から60代に分散

① 取得サンプル数

調査日別サンプル数

	件数			構成比		
	渡橋名	保栄茂	合計	渡橋名	保栄茂	合計
令8年1月18日(日)	67	48	115	58.3%	41.7%	100.0%
令8年1月20日(火)	143	109	252	56.7%	43.3%	100.0%
合計	210	157	367	57.2%	42.8%	100.0%

便別サンプル数

令8年1月18日(日)

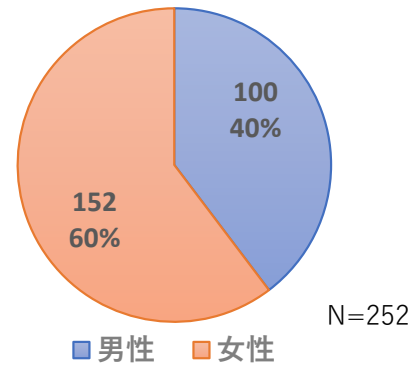
	件数			構成比		
	渡橋名	保栄茂	合計	渡橋名	保栄茂	合計
1便	15	8	23	22.4%	16.7%	20.0%
2便	17	21	38	25.4%	43.8%	33.0%
3便	23	8	31	34.3%	16.7%	27.0%
4便	12	11	23	17.9%	22.9%	20.0%
合計	67	48	115	100.0%	100.0%	100.0%

令8年1月20日(火)

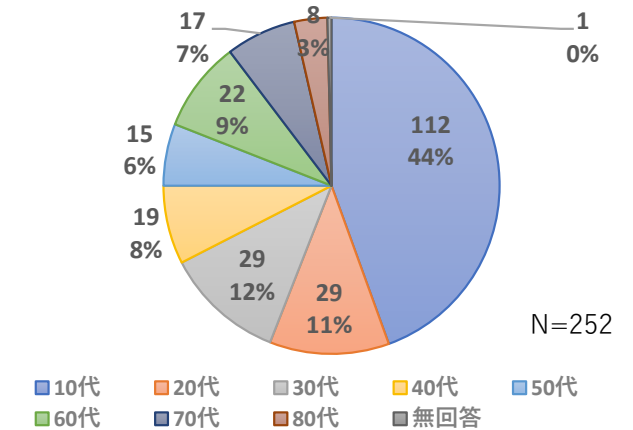
	件数			構成比		
	渡橋名	保栄茂	合計	渡橋名	保栄茂	合計
1便	35	29	64	24.5%	26.6%	25.4%
2便	15	7	22	10.5%	6.4%	8.7%
3便	15	8	23	10.5%	7.3%	9.1%
4便	28	36	64	19.6%	33.0%	25.4%
5便	39	21	60	27.3%	19.3%	23.8%
6便	11	8	19	7.7%	7.3%	7.5%
合計	143	109	252	100.0%	100.0%	100.0%

② 利用者属性（性別）

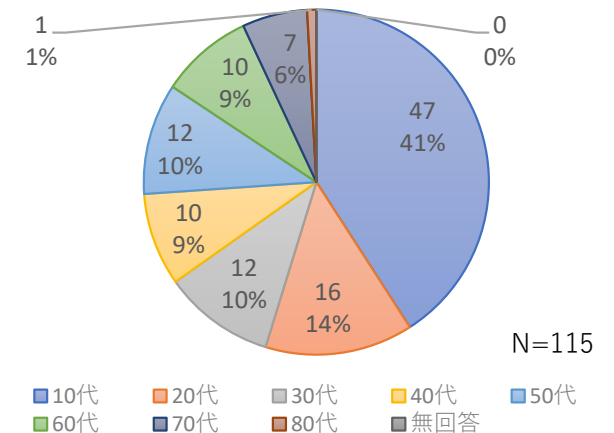
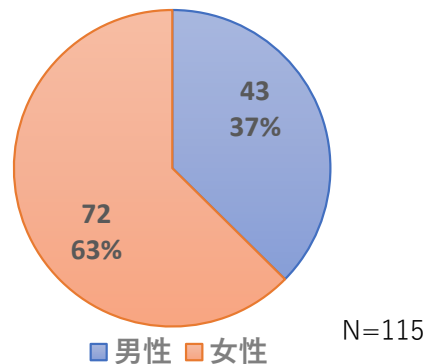
・平日



③ 利用者属性（年代）



・休日



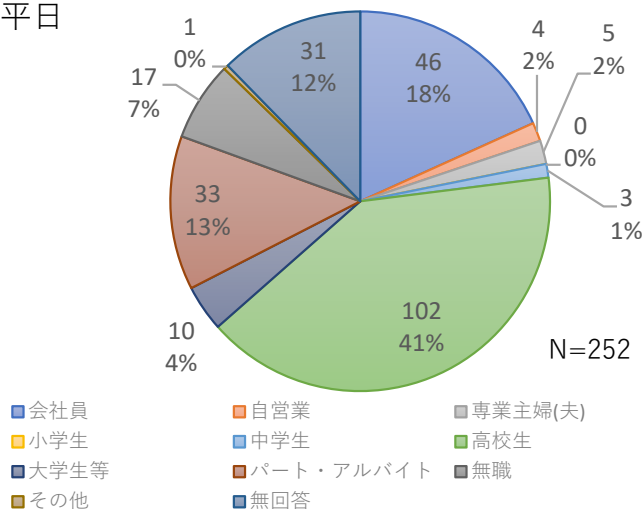
3-1. 市内一周線（105番）利用実態調査について

(4) 令和7年度 実態調査結果

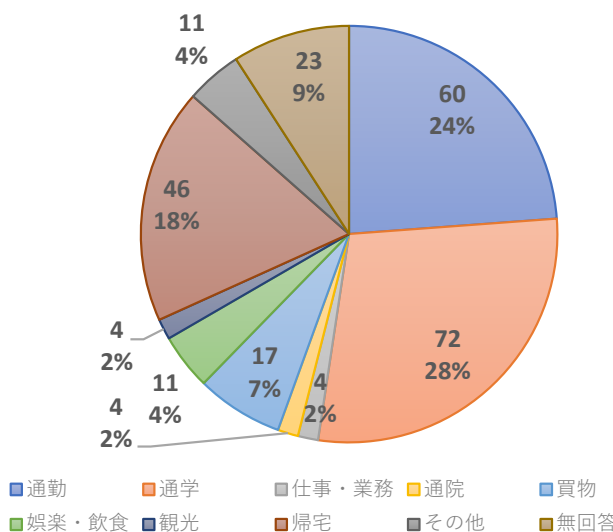
- 平日利用では高校生が最も多く、次いで会社員、パートアルバイト、移動目的も通勤通学約5割を占め、利用頻度も週の利用頻度も複数回が7割弱占めている
- 休日利用においても高校生が最も多いが、移動目的が買物が最も多く、利用頻度は平日より少ない傾向

③ 職業別

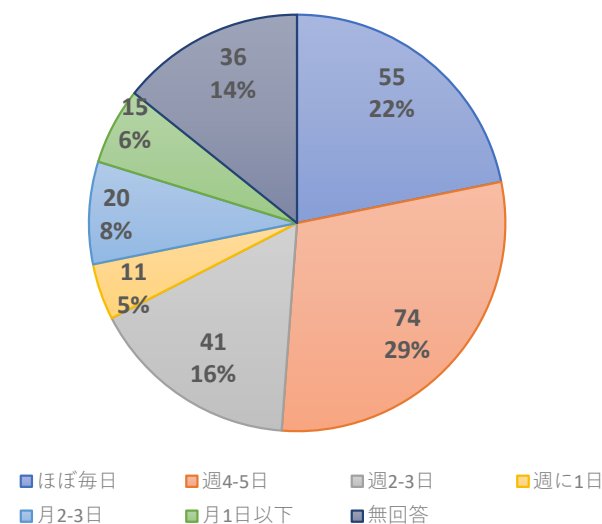
・平日



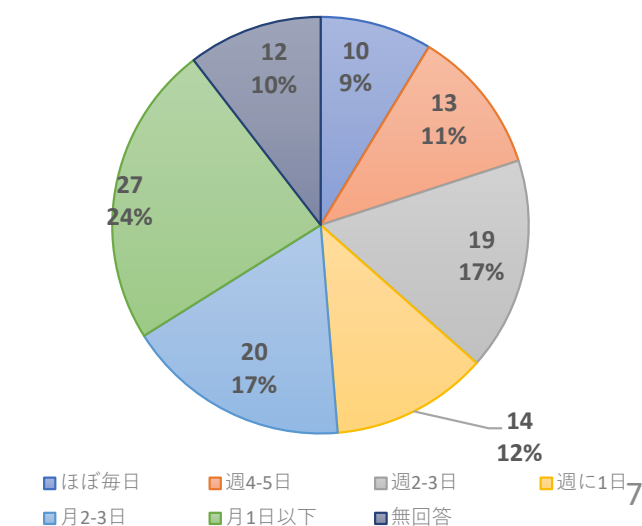
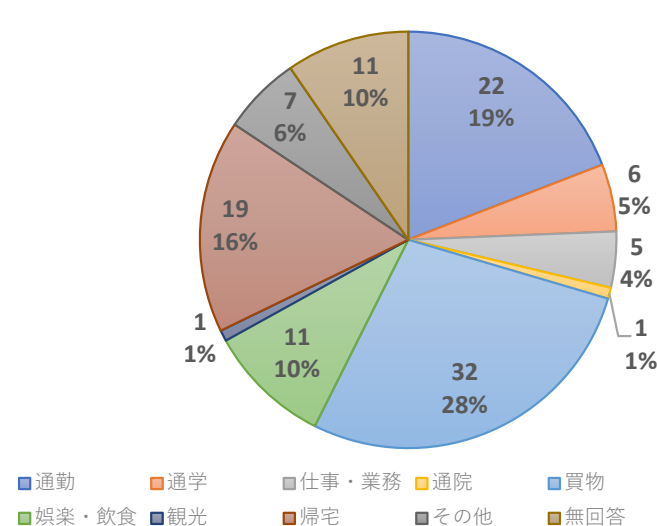
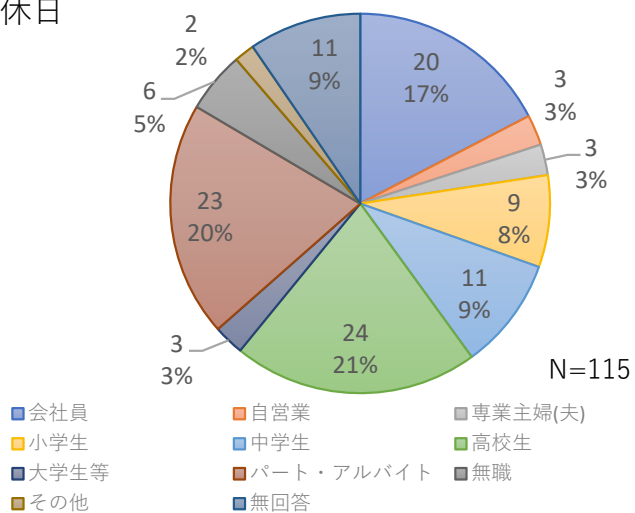
④ 移動目的別



⑤ 利用頻度別



・休日

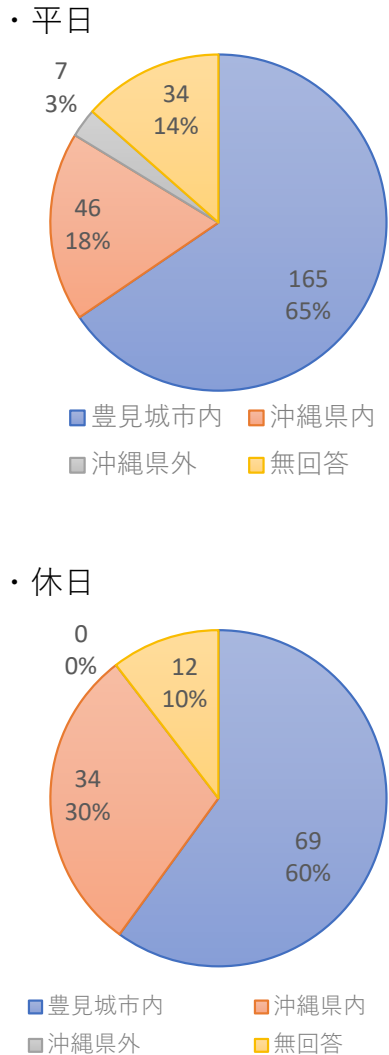


3-1. 市内一周線（105番）利用実態調査について

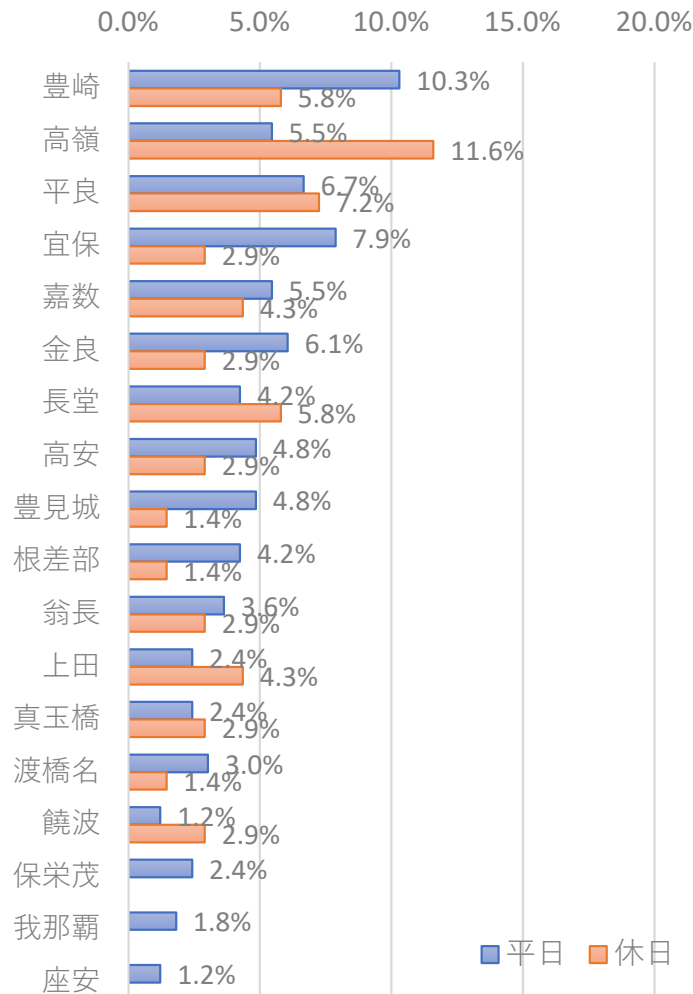
(4) 令和7年度 実態調査結果

- 居住地別の利用状況では、市内利用者が最も多いが、休日利用では県内(市外)利用者の割合が増加
- 地区別利用実態では平日は豊崎地区、休日は高嶺地区の利用が最も多い
- 市内一周線からの乗り継ぎでは、モノレールの他に路線バスへの乗り継ぎも確認

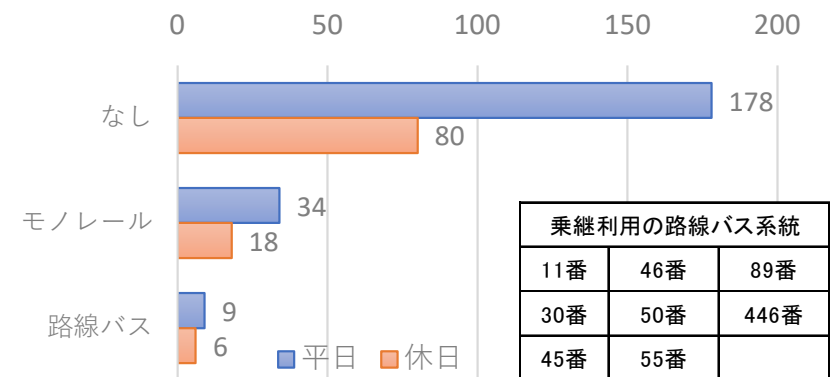
⑥ 居住地別利用



⑦ 市内地区別利用実態



⑧ 乗り継ぎの実態



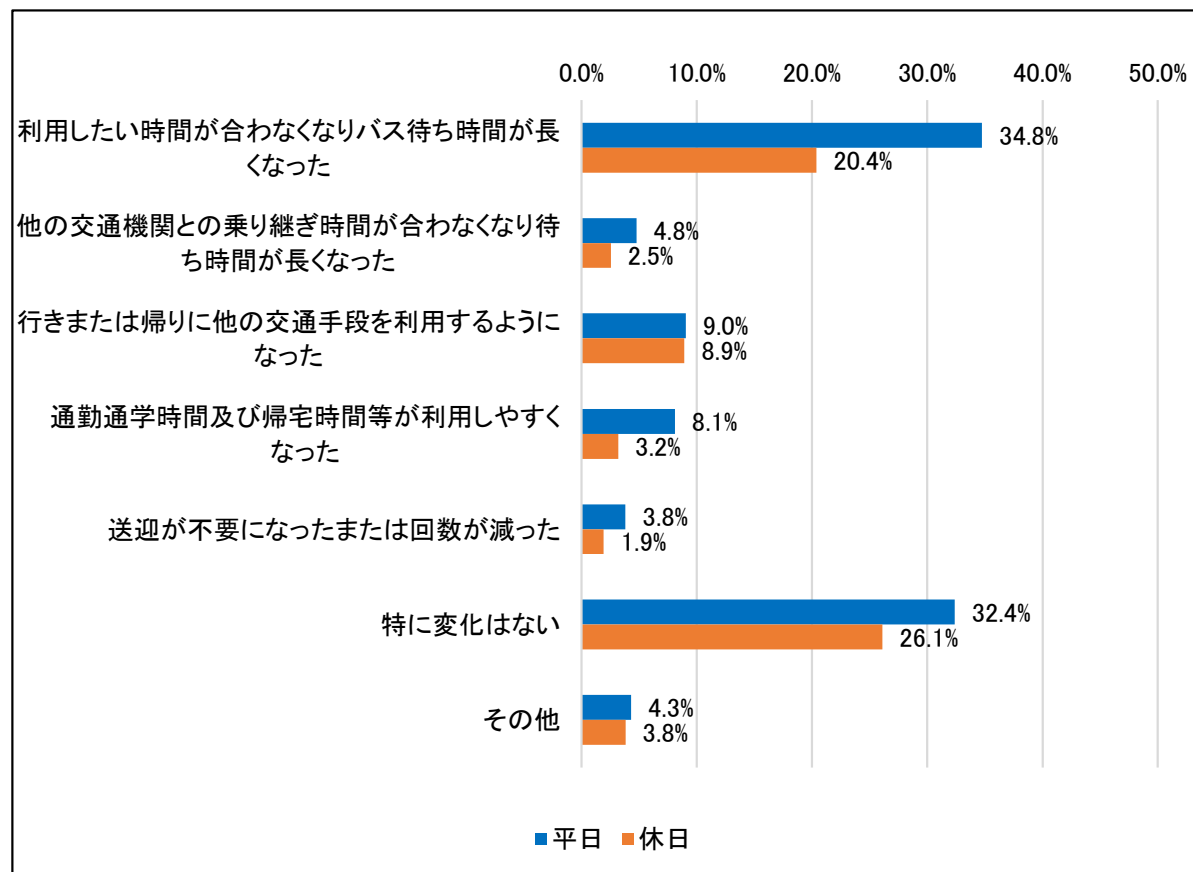
⑨ 主な乗降場所

乗降場所	件数		
	平日	休日	合計
1 自宅	28	7	35
2 イーアス	8	18	26
3 学校	15	1	16
4 あしびなー	6	9	15
5 小禄高校	12	1	13
6 南部農林高校	6	2	8
7 豊見城高校	8	0	8
8 豊崎	6	2	8
9 豊見城南高校	7	0	7
10 奥武山公園	4	2	6

(4) 令和7年度 実態調査結果

- 市内一周線(105番)の運行時間見直しにより、待ち時間及び乗り継ぎ時間の待ち時間増加等の影響は見られるが、利便性向上の意見も一定程度みられる
- 自由意見では、運行本数の増便、ルート及びダイヤ見直しに関する意見もあるが、路線存続に関する意見も多数あり、生活路線としての依存度が高いことも伺える

⑩ ダイヤ改正による影響



⑪ 自由意見

主な自由意見
<ul style="list-style-type: none"> ■ 運行本数の増便に関する要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土日祝の運行本数増便、通勤通学時間帯の増便、最終便の延長 等
<ul style="list-style-type: none"> ■ 遅延に関する不満・改善要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻表とおりに来ない、遅延証明書がほしい 等
<ul style="list-style-type: none"> ■ 運行ルート・停車に関する要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小禄駅前へ、空港・那覇BT行き、バス停にイスや日よけがほしい 等
<ul style="list-style-type: none"> ■ ダイヤ改正に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 改正後に不便になった、以前の時間帯に戻してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ■ 路線の存続を望む声 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活にかかせない、継続して運行してほしい、便数を減らさないでほしい 等

- 渋滞緩和に向けた施策のひとつとなる「パーク＆ライド」の実施に向けた検討
- 市内大型商業施設、公共用地等での実施の可能性や、管理・運営体制について検討

①実施概要

豊見城市には那覇市方面と結ぶバス路線が走るが、中でも市西部の県道 256 号には多くのバスが那覇市方面へと走っている。それらのバスは豊崎方面に立地するアウトレットモールあしびなーや MEGA ドン・キホーテなどの商業施設と結節しているので施設の駐車場を利用し、那覇市方面への移動を県道 256 号を走るバス路線へと乗り換えることで、那覇市内へ流入する自家用車の削減、ひいては那覇市内の渋滞緩和を目指す。

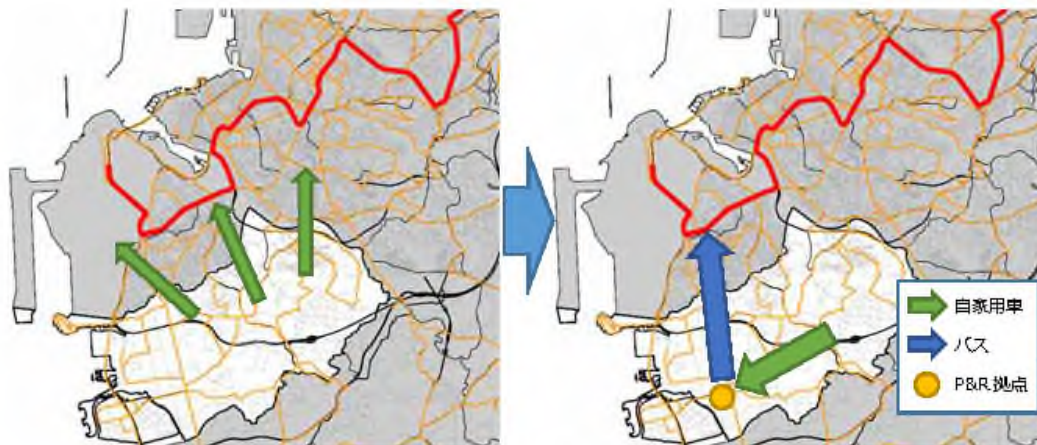
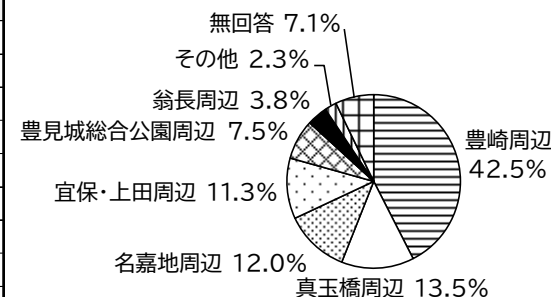


図 P&R 実施前後の流動変化イメージ(左:実施前、右:実施後)


②パーク＆ライド希望位置 (R5アンケート調査結果)

P&R希望位置		n=266	
項目	人数	比率	
豊崎周辺	113	42.5%	
真玉橋周辺	36	13.5%	
名嘉地周辺	32	12.0%	
宜保・上田周辺	30	11.3%	
豊見城総合公園周辺	20	7.5%	
翁長周辺	10	3.8%	
その他	6	2.3%	
無回答	19	7.1%	
計	266	100.0%	



(1)関係者ヒアリング

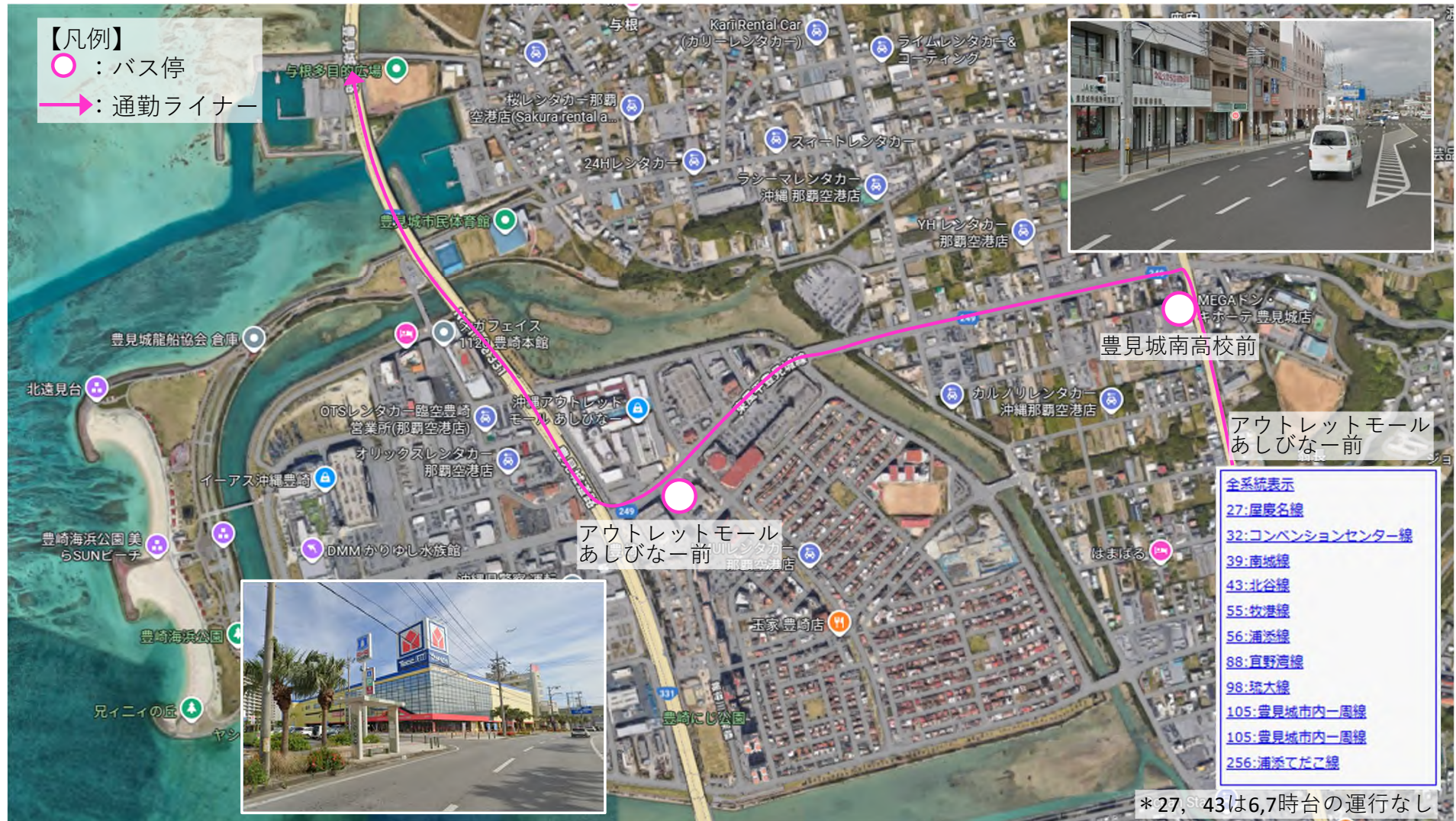
- 昨年度に実施された施設管理者ヒアリング結果より、以下の2施設においてP&R実施の可能性について調整

駐車想定箇所	ヒアリング回答	依頼・確認事項
<p>■ MEGA ドン・キホーテ豊見城店</p> 	<p>【MEGAドン・キホーテ豊見城店】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P&Rについて、<u>運営・管理において店舗側に負担がないようであれば実施は可能と考える。</u> ● 駐車場は平面・立体を含め400台程度となっており、<u>営業時間（9時～27時）外は締め切っている。</u> ● 実施するにあたっては、監視カメラを導入し車両を管理することで、店舗側の負担軽減が図れる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 30人（台）規模を想定 □ 営業時間外の屋外駐車場の利用について □ 実施実験においては、
<p>■ アウトレットモールあしびなー</p> 	<p>【アウトレットモールあしびなー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土、日、祝日においては立体駐車場利用が多い。平日は比較的少なく、<u>10台程度であればP & Rとしての利用は可能考える。</u> <p>【大和リース株式会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P&Rの実施内容については、<u>あしびなー側と調整して頂き、最終的に実施を決定する際に情報共有（最終確認を行って頂く流れと考えている。</u> ● 必要に応じて3者会議への対応も可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 10人（台）を想定 □ 立体駐車場（屋上）の利用について

3-2. パーク＆ライド実証実験に向けた検討について

(2) 実証実験イメージ

- 現在、豊崎地区に位置するバス事業者では、那覇バスターミナルを起終点とするバスが、当該営業所から回送してターミナルへ向かっており、回送車両の有効利用の可能性を検討
- 通勤ライナー実施が可能な場合においては、同様に、下記の2バス停での乗換え



(3) P&R実証実験実施概要について

- P&R実証実験については、2箇所の何れかの施設での実施を想定
- P&Rの実施に合わせて、通勤ライナー実施の可能性についても検討

【パーク＆ライド】

実施期間 : 令和8年〇月～〇月 (〇ヶ月)

P&R駐車場 : ①MEGAドン・キホーテ豊見城店 (駐車可能台数 : 20台)

②アウトレットモールあしびなー (駐車可能台数 : 10台)

P&R利用料 : 無料

利用時間 : ① 00 : 00～00 : 00 ② 00 : 00～00 : 00

【通勤ライナー】

運営事業者 : 沖縄バス

実施期間 : 令和8年〇月～〇月 (〇ヶ月)

運行時間帯 : 6 : 30 、 7 : 00 (2便/日) 豊見城から那覇バスターミナルのみ

利用料金 : a)無料 b)有料 : バス運賃相当額 (470円)

* a)の場合においては、既存のバス路線との競合になる。

(3) P&R実証実験実施概要について

■実証実験実施のスケジュール（案）

- P&Rの実証期間について、利用者のほとんどが通勤・通学によるものと想定され、バスの定期券（1, 3カ月）の更新時期、また、会社への通勤手段の変更手続き等を考慮
- 短期間の実施では、現在、自動車からP&Rへの利用促進は困難と考えられることから、半年以上の実施、年度を跨いだ継続実施

	R8 6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	R9 4 ~	備考
関係者調整	→								→			
周知広報		→										
P&R実証			→									
効果検証								→				

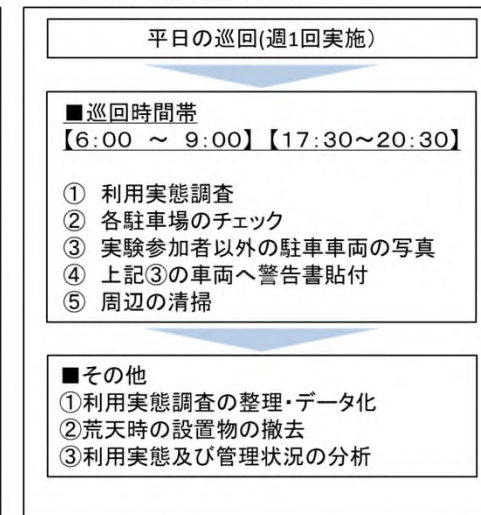
■管理体制

- P&Rの実証実験に向けて、参加者の受付、施設管理者及び発注者との連絡体制について以下に示す。
- P&R利用者に対して、P & R利用上の注意点等を示した利用規約等を作成

■連絡体制（イメージ）



■利用実態調査（巡回）



(4) アンケート調査について

- 実証実験実施において、効果検証を目的にパーク＆ライド利用者へのアンケートを実施
- アンケート調査は用紙またはWebによる実施を想定

設問		回答項目	備考
1	個人属性	①年齢 ②性別 ③居住地	• 利用者の属性や行動パターンを把握する
2	勤務状況	①通勤エリア ②勤務形態（出勤日数、時差通勤の有無） ③通勤時間帯（出勤、退勤）	
3	パーク＆ライドの利用状況	①利用駐車場 ②利用頻度 ③利用時間帯	• 利用実態を把握し、
4	利用した理由	①渋滞緩和 ②駐車場確保の安心 ③交通費補助 ④環境配慮 ⑤自家用車運転が不慣れ	• 利用者が重視している視点を把握
5	利用しなかった場合の通勤手段	①自家用車（自身が運転） ②自家用車（送迎） ③自転車 ④徒歩 ⑤その他	• どの交通手段からの転換かを把握
6	実証実験の認知経路	①会社からの案内 ②自治体の広報 ③SNS ③口コミ ④現地案内	• 効果的な広報媒体を把握
7	利便性・サービス評価 (5段階評価)	①駐車場の場所・入りやすさ ②案内表示の分かりやすさ ③駐車料金の妥当性（有償の場合） ④公共交通の本数・待ち時間 ⑤乗り換えのしやすさ ⑥目的地までの所要時間 ⑥安全性（夜間照明、歩行動線など）	• 利用者満足度と改善点を定量的に把握
8	効果に関する評価	①渋滞緩和に寄与していると思う ②通勤ストレスが減った ③通勤時間が安定した ④公共交通の利用が増えた ⑤環境負荷（CO ₂ 排出）が減ったと思う ⑥社会・地域の交通改善に役立つと思う	• 体感的な効果を把握
9	今後の利用意向	①今後も利用したいか（5段階） *利用したくない場合の理由	• 本格導入可否を検討
10	自由意見		

(1) 市内小学校を対象としたバスの乗り方教室の実施

- 過度な自家用車移動から、公共交通を活用した移動手段への転換を推進するため、市内小学生（4年生）を対象としたバスの乗り方教室の実施。
- バス事業者と連携し座学（公共交通の必要性）やバス乗車体験（バス乗降車方法、車内マナー、車椅子乗車及び運転手体験）等を実施。

■座安小学校 : 令和7年12月22日(月) 9:30~11:20
 ■長嶺小学校 : 令和8年2月6日(金) 9:30~11:20

【座学】

- バスを利用することが、渋滞緩和やCO2削減等、環境や社会への影響を学ぶ

【乗車体験】

- バス事業者と連携し、バス乗車を体験
- バスの乗車時の整理券取得方法、Okicaタッチ等を体験
- 降車時の運賃確認や支払い方法を体験
- バス乗車時においては、バス車内でのマナーについて学ぶ
- その他、車椅子利用時の乗降体験や、バス運転席に着座し、バスの死角の確認等を体験

【アンケート調査の実施】

- バスの乗り方教室の前後において、公共交通に関するアンケート調査を実施し、過度な自家用車利用や公共交通への意識変化を把握
- 座安小学校においては、昨年度にバス乗り方教室を実施した5年生へも1年度の公共交通への意識変化把握としてアンケートを実施

■参考：交通に関する情報

- 「バスの乗り方教室」の対象となるクラスへ下敷きを提供を予定
- 下敷きは沖縄県交通政策課より提供



(2)実施内容

① 授業内容

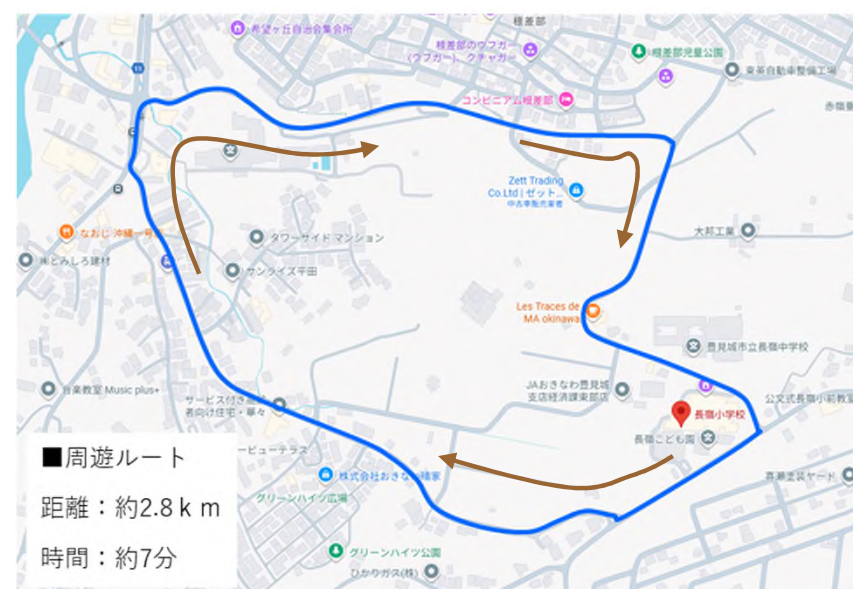
	実施内容
8:45	学校到着（豊見城市、琉球バス、中央）
8:55	職員室へ（担当先生へ）
9:00 ～ 9:20	集合場所へ移動（豊見城市、中央） ・準備：プロジェクター、画面 等
5分	休み時間（児童集合）
9:30 ～ 10:00	バスの乗り方教室目的（豊見城市）：10分 公共交通について：20分
15分	学校正門へ移動（琉球バス） ・学校へバス入庫
	トイレ休憩：10分
	バスへの移動：5分
10:15 ～ 10:35	バス乗降方等の説明 ・バスの待ち方、乗り方等について：10分 （時刻表、整理券、OKICA等） ・バリアフリー体験やバス見学：10分
10:35 ～ 11:05	バスの乗車体験 ・バスの乗車体験：15分 ・運転手体験・写真撮影：15分
11:05 ～ 11:15	おわりのあいさつ（豊見城市） 下敷きの配布
11:15 ～ 11:20	機材片付け・撤収 バスの出庫

② バス乗り方教室（周遊ルート）

■座安小学校



■長嶺小学校



(3)実施状況

- 過度な自家用車移動から、公共交通を活用した移動手段への転換を推進するため、市内小学生(4年生)を対象としたバスの乗り方教室の実施。
- 過度な自家用車利用による社会への影響や、実際にバスを活用して乗降方法(整理券、運賃表の見方、運賃支払い方法)及び車内でのマナー等について児童へ説明。

実施状況

座学

- ① バスの乗り方教室について説明
- ② 市内の交通渋滞状況、公共交通の必要性、環境にやさしい移動、市内を走る路線バスについて説明
- ③ 豊見城市が現在取り組んでいる交通施策について説明



バスの乗車体験

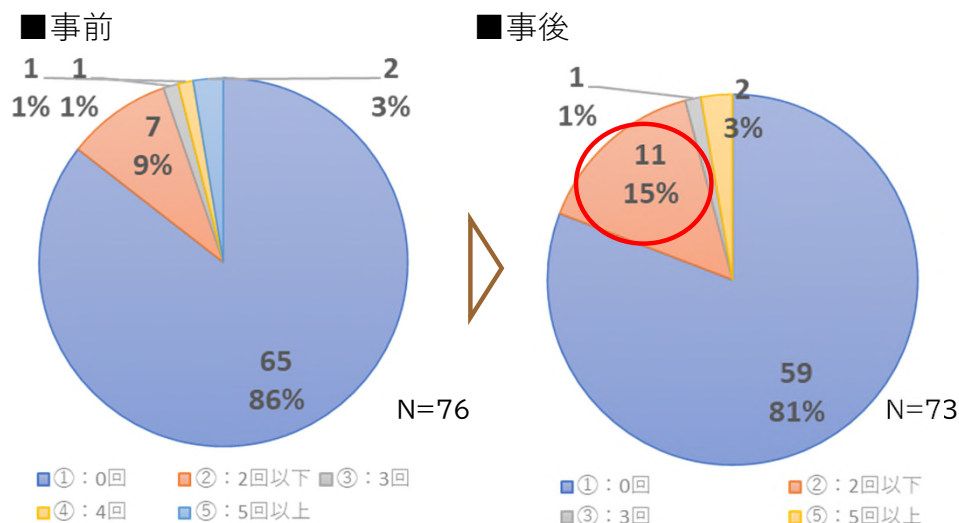
- ① バス停での待ち方、乗車する際の注意点（乗車時、整理券の取り方、Okicaの利用方法）について説明
- ② 乗車時の整理券の取り方を体験、バスの走行中は利用金表のみかたや、乗車時のマナーについて説明
- ③ 学校へ到着後、料金の支払い方法を体験し、また、運転手体験を実施



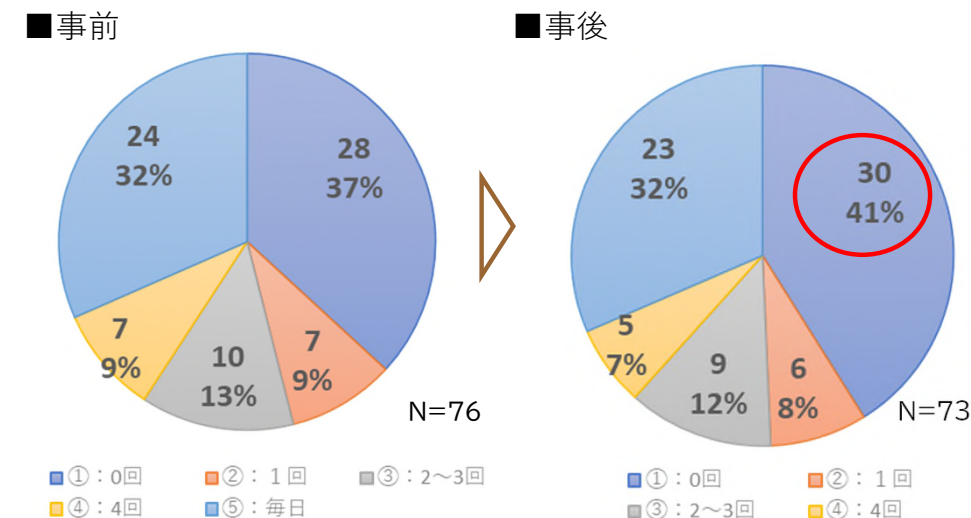
(4) バスの乗り方教室実施による児童の意識変化(4年生)

- バス乗り方教室実施前後において児童へアンケートを実施し、登下校の送迎が事後において減少、バス利用の認識が増加
- 車にたよらない生活についても約50%が意識していることから、今後は多様な移動手段の周知も含めた公共交通利用促進(行動変容)を図るための継続的な学校教育MM実施が重要

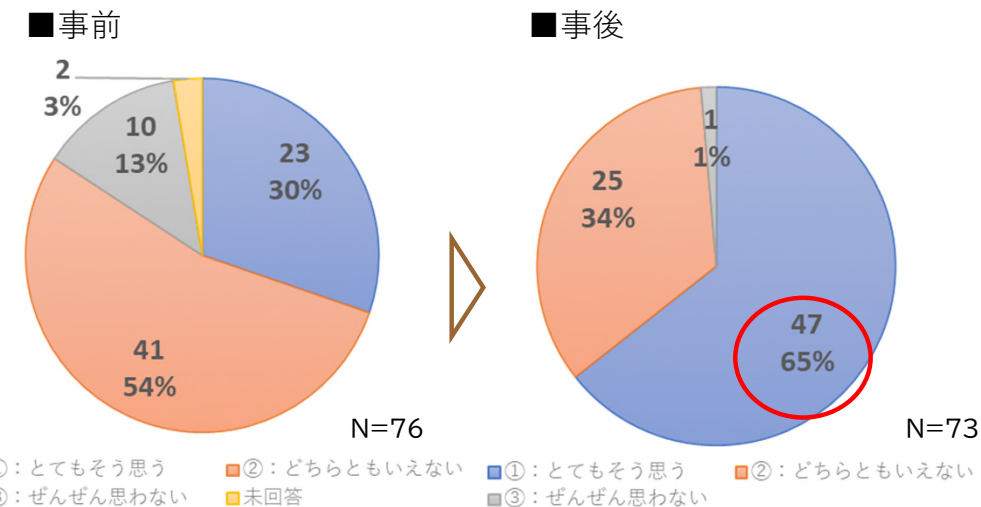
① 一週間以内でのバス、モノレールの利用について



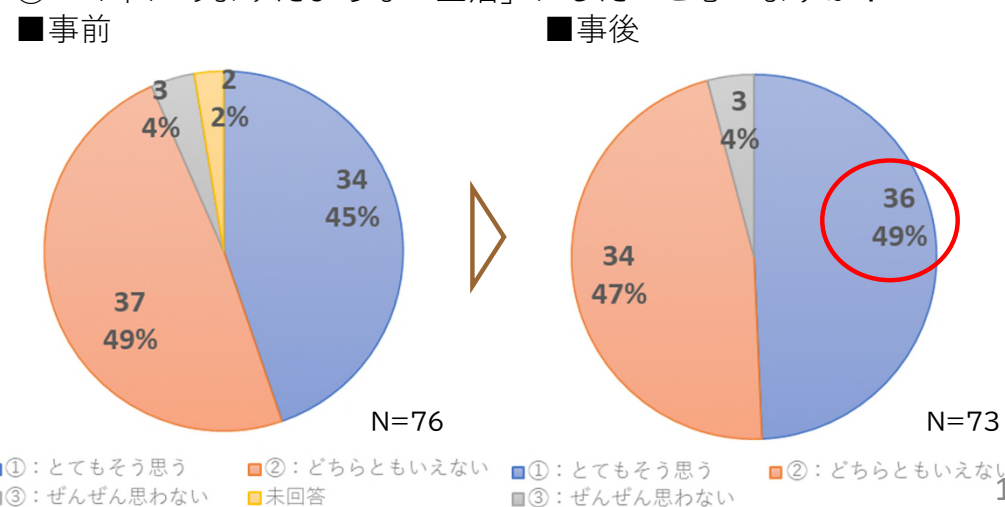
② 最近1週間で何回クルマに乗って学校へ通学しましたか？



③ 「バスを利用」しようと思いますか？



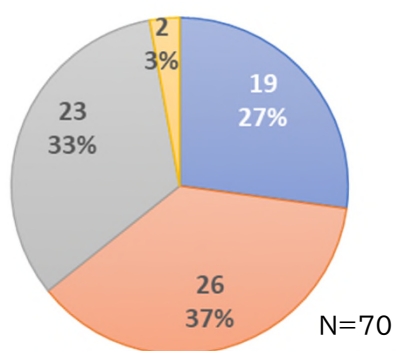
④ 「車にあまりたよらない生活」にしたいと思いますか？



(5)バスの乗り方教室実施による児童の意識変化(5年生)

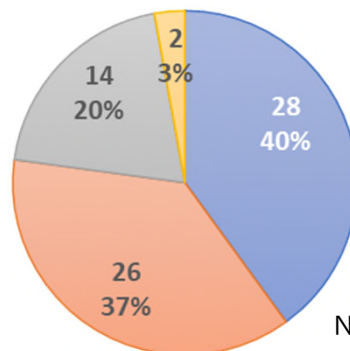
- バス乗り方教室から1年後においても、公共交通の必要性、偏った自家用車利用の影響及びバス車内のマナーについて、50%以上が記憶しており、一定程度の授業の実施効果が伺える
- 自家用車での通学(送迎)において大きな変化は見られないが、毎日の送迎割合が6%減少

① 公共交通が大切なことを覚えていますか？



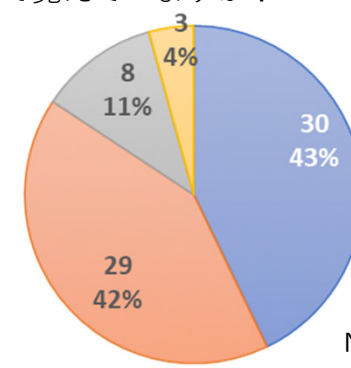
■ ①: よく覚えている ■ ②: 少し覚えている
■ ③: 覚えていない ■ ④: 未回答

② 車ばかり利用すると、社会全体にあたる影響について覚えていますか？



■ ①: よく覚えている ■ ②: 少し覚えている
■ ③: 覚えていない ■ ④: 未回答

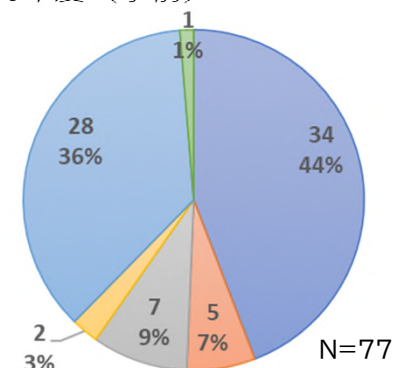
③ バスの乗り方やバスの中でのマナーについて覚えていますか？



■ ①: よく覚えている ■ ②: 少し覚えている
■ ③: 覚えていない ■ ④: 未回答

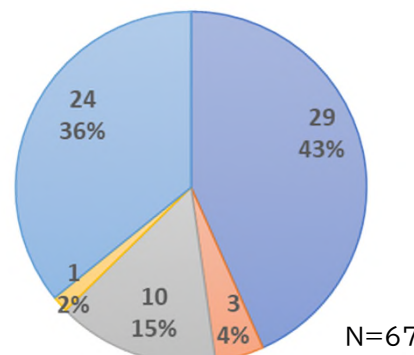
④ 最近1週間での自家用車通学回数

■ 令和6年度（事前）



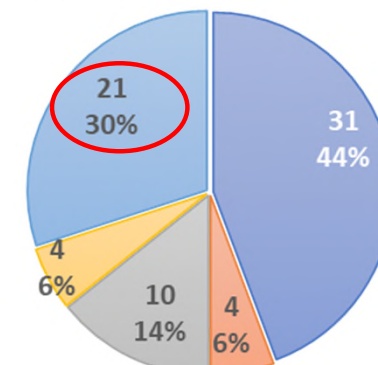
■ ①: 0回 ■ ②: 1回 ■ ③: 2~3回
■ ④: 4回 ■ ⑤: 毎日 ■ 未回答

■ 令和6年度（事後）



■ ①: 0回 ■ ②: 1回 ■ ③: 2~3回
■ ④: 4回 ■ ⑤: 毎日

■ 令和7年度



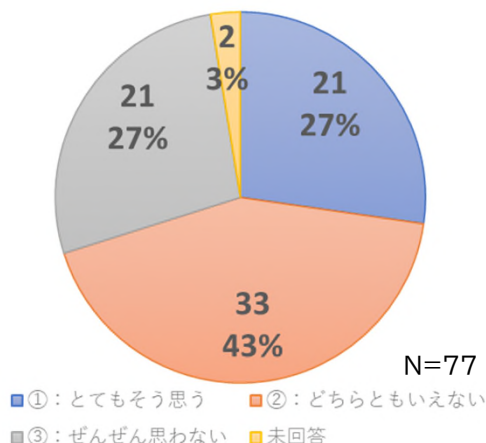
■ ①: 0回 ■ ②: 1回 ■ ③: 2~3回
■ ④: 4回 ■ ⑤: 毎日

(5)バスの乗り方教室実施による児童の意識変化(5年生)

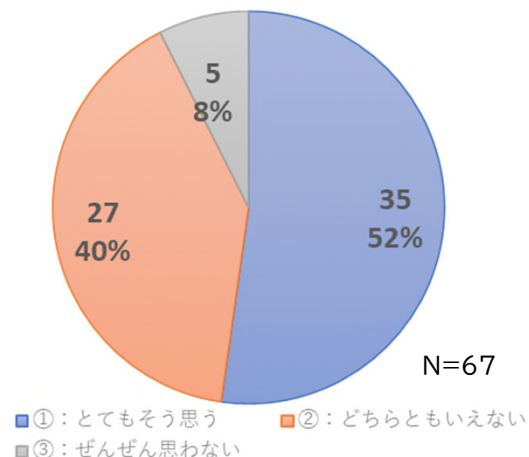
- バスの利用意向及び車にたよらない生活について、バス乗り方教室後では意識の改善効果が伺えるが、1年後においては、乗り方教室実施前と同様の傾向となっている
- 効果的な施策としていくには、定期的にMMに関連する授業の実施や多様な移動手段を活用した体験型の取り組みが必要

⑤ 路線バスの利用意向について

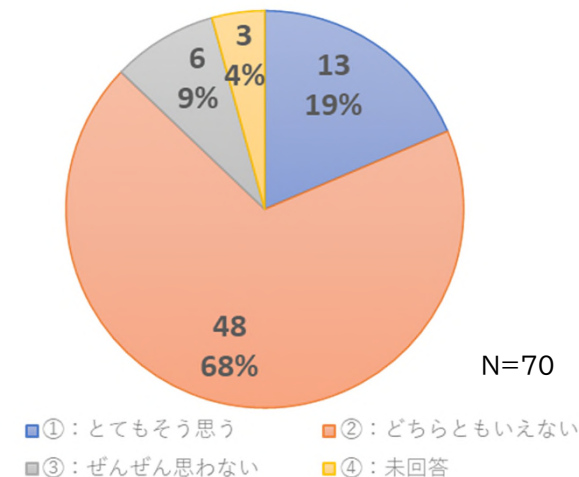
■ 令和6年度（事前）



■ 令和6年度（事後）

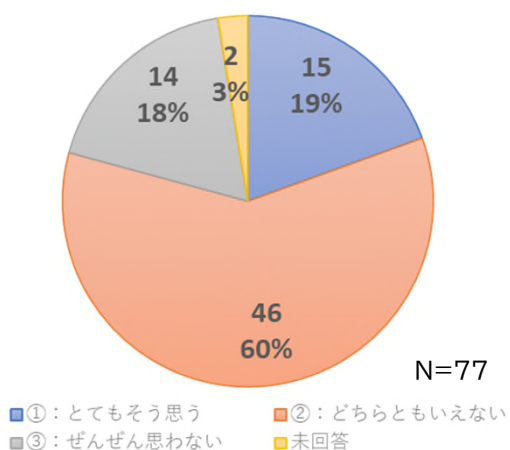


■ 令和7年度

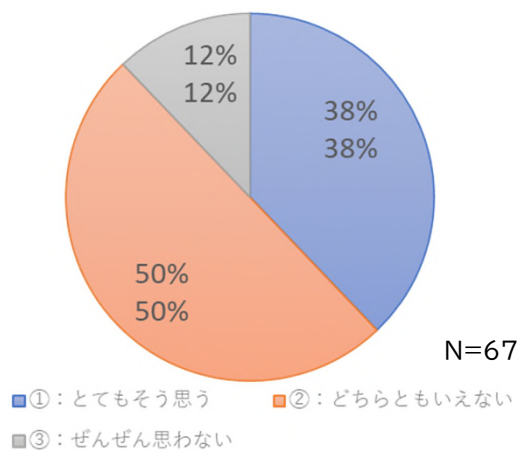


⑥ 車にあまりたよらない生活について

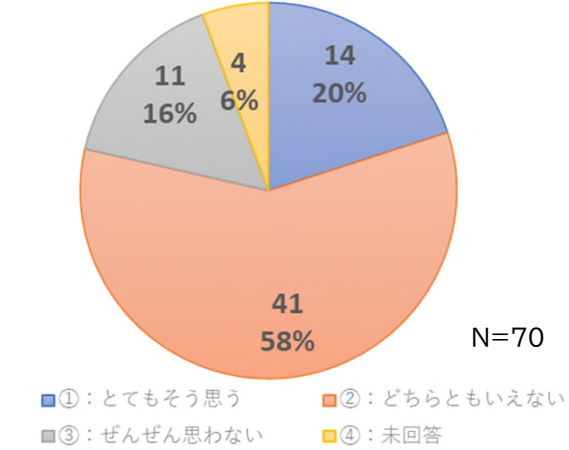
■ 令和6年度（事前）



■ 令和6年度（事後）



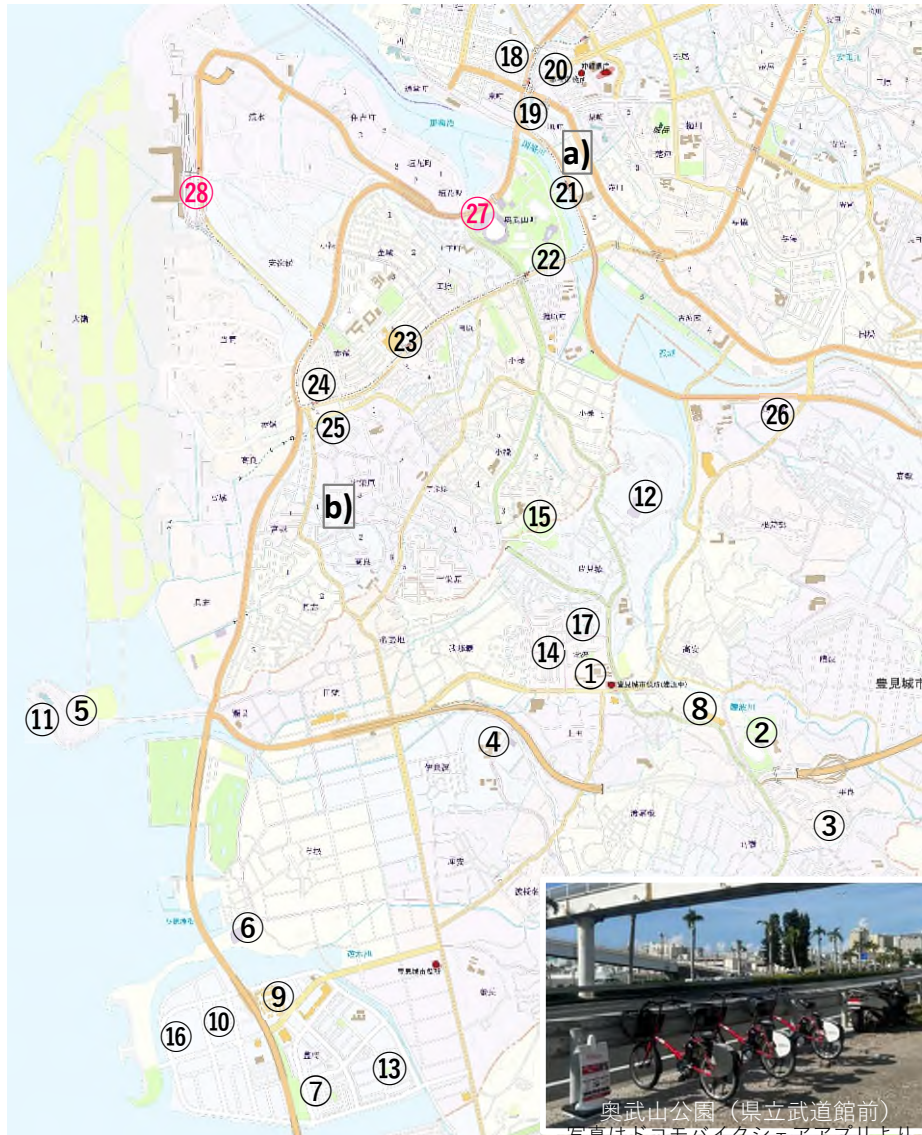
■ 令和7年度



3-4. シェアサイクル事業（ちゅらチャリ）について

(1) サイクルポート設置箇所

- 株式会社ドコモ・バイクシェアと「シェアサイクル事業実証実験に関する基本協定書」を締結。(R6年4月26日)
- 令和6年度にサイクルポート10箇所の増設、令和7年度においては2箇所を増設実施



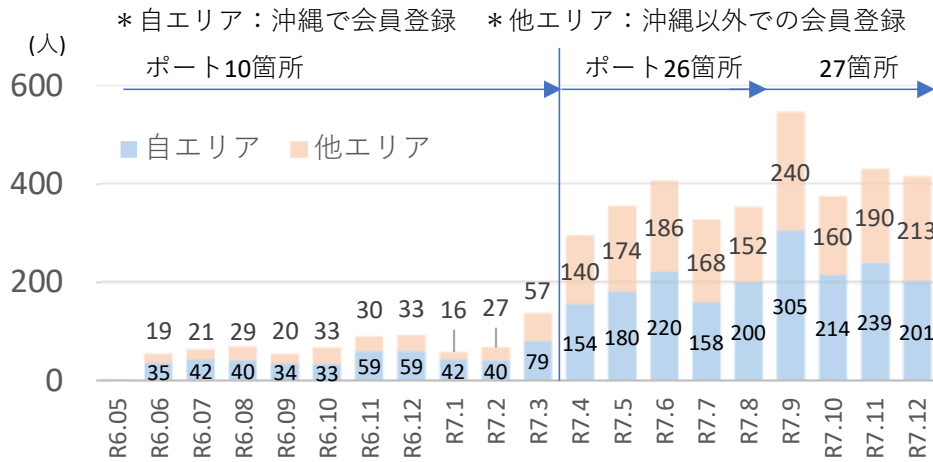
	ポート名	駐輪可能台数	占用面積
設置箇所	① 豊見城市役所	—	—
	② 豊見城市総合公園	—	—
	③ 豊見城団地市改良住宅（集会所）	—	—
	④ 豊見城市立中央図書館	—	—
	⑤ 瀬長島サンセットパーク第一駐車場	—	—
	⑥ 豊見城市民体育館	—	—
	⑦ 豊崎にじ公園	—	—
	⑧ 豊見城郵便局	—	—
	⑨ 沖縄アウトレットモールあしびなー	—	—
	⑩ 道の駅豊崎 ていぐま館	—	—
	⑪ 瀬長島サンセットパーク広場	—	—
	⑫ 空手会館前駐車場（豊見城城址跡）	—	—
	⑬ あおぞら公園	—	—
	⑭ 宜保ふるじま公園	—	—
	⑮ 海軍壕公園	—	—
	⑯ イーアス沖縄豊崎	—	—
	⑰ 市役所前の県道歩道部	—	—
	⑱ 旭橋駅①	4台	5.4㎡
	⑲ 旭橋駅②	7台	8.5㎡
	⑲ 旭橋駅③	4台	5.4㎡
	⑳ 壺川駅	5台	6.3㎡
	㉑ 奥武山駅	5台	6.3㎡
	㉒ 小祿駅	4台	5.4㎡
	㉓ 赤嶺駅①	5台	7.0㎡
	㉓ 赤嶺駅②	4台	5.4㎡
	㉔ 真玉橋（南）交差点（県道側）	4台	5.4㎡
㉔ 奥武山公園（県立武道館前）	5台	6.3㎡	
員設	㉕ 那覇空港駅		
a)	那覇中央郵便局	—	—
b)	小祿郵便局	—	—

図 設置箇所及び設置予定箇所

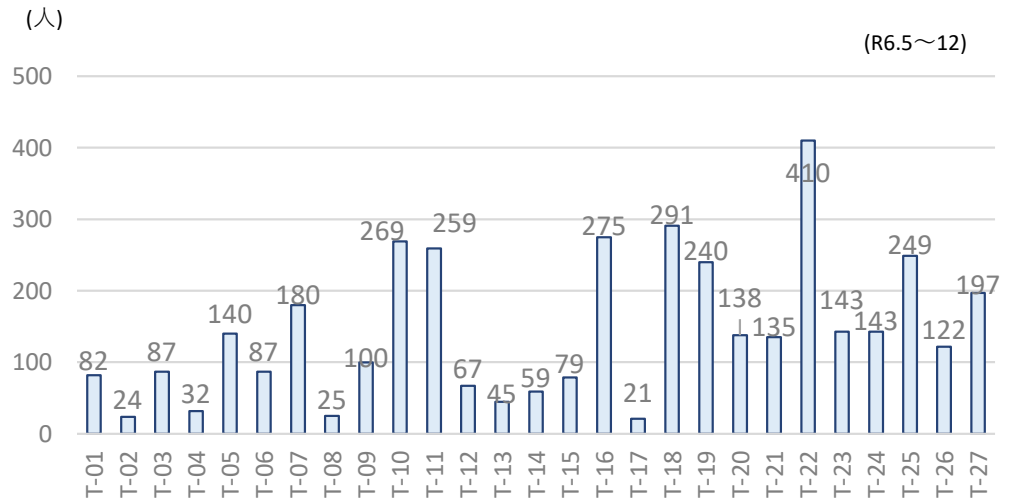
(2)シェアサイクルの利用実績

- 令和7年4月より、市内のポート設置箇所数が10箇所から16箇所増加し、利用者数も大きく増加
- ポート別の利用状況ではT-22奥武山公園駅の利用が最も多く、次いでT-18旭橋駅①
- 昨年度の12月との曜日別利用者変動をみると、昨年度は平日(月火)が最も多い傾向を示していたが、今年度においては、休日(土・日)の利用が最も多い傾向となっている

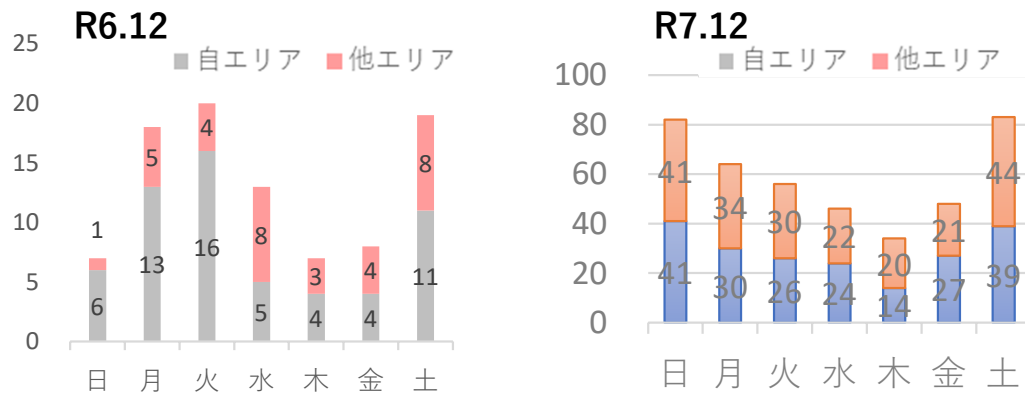
① 市内ポート利用者推移



③ 市内ポート別利用者数



② 12月の曜日別利用者変動



■ 市内設置ポート (27箇所)

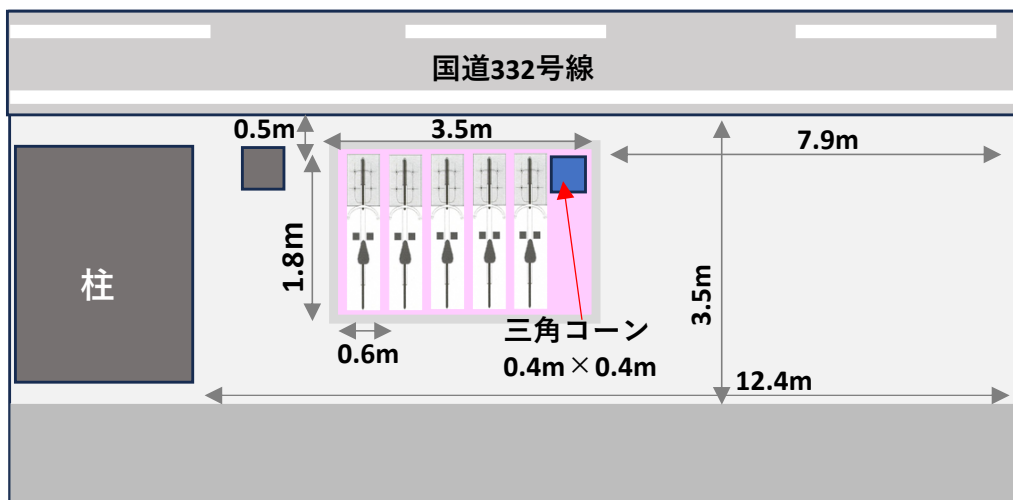
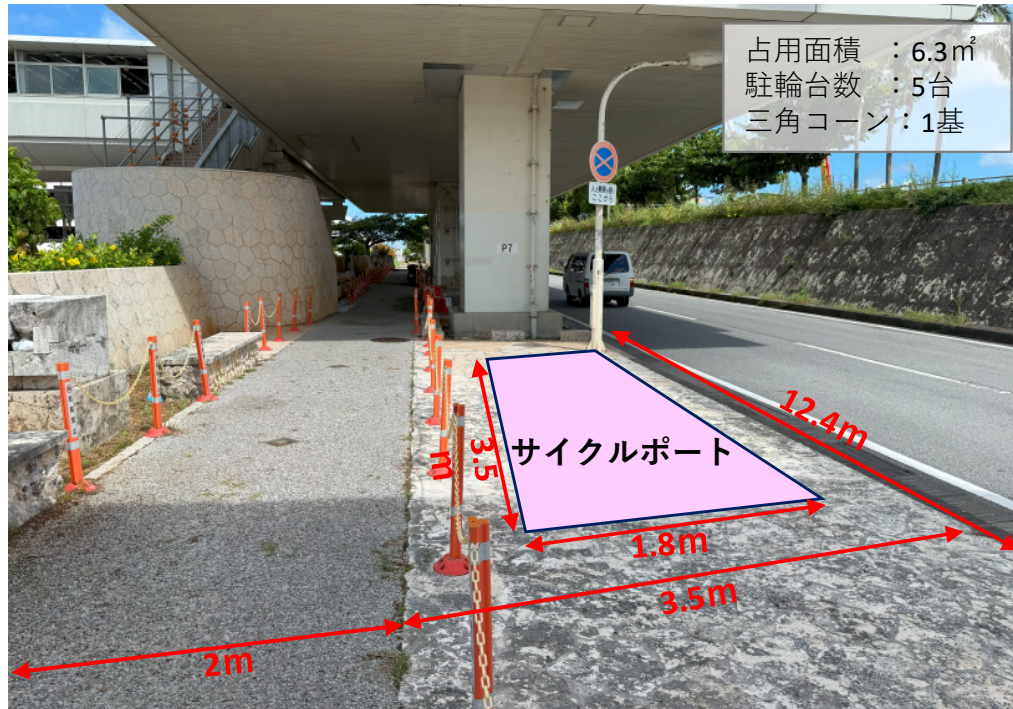
市内ポート	
T-01.豊見城市役所	T-15.海軍壕公園
T-02.豊見城総合公園	T-16.イース沖繩豊崎
T-03.豊見城団地 改良住宅	T-17.豊見城市役所 (豊見城中学校前)
T-04.豊見城市立中央図書館	T-18.旭橋駅① (国道58号)
T-05.瀬長島サンセットパーク 第一駐車場	T-19.旭橋駅② (久茂地川)
T-06.豊見城市民体育館	T-20.旭橋駅③ (バスターミナル)
T-07.豊崎にじ公園	T-21.壺川駅
T-08.豊見城郵便局	T-22.奥武山公園駅
T-09.豊見城市観光協会	T-23.小祿駅
T-10.沖繩アウトレットモールあしびなー	T-24.赤嶺駅① (北口)
T-11.瀬長島ウミカジテラス前	T-25.赤嶺駅② (南口)
T-12.空手会館前駐車場 (豊見城城址跡)	T-26.真玉橋 (南)
T-13.あおぞら広場	T-27.奥武山公園 (県立武道館前)
T-14.宜保ふるじま公園	

3-4. シェアサイクル事業（ちゅらチャリ）について

■ 沖縄都市モノレール：那覇空港駅

■ 案①

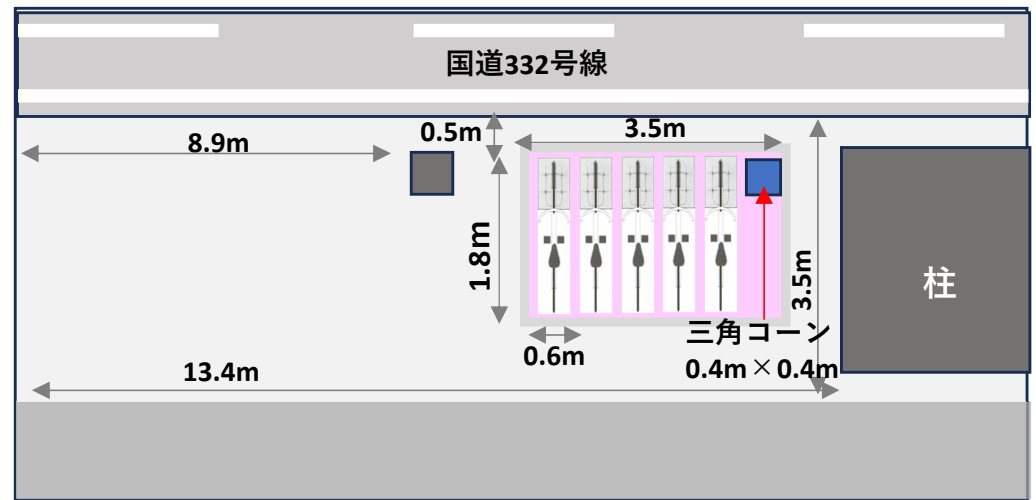
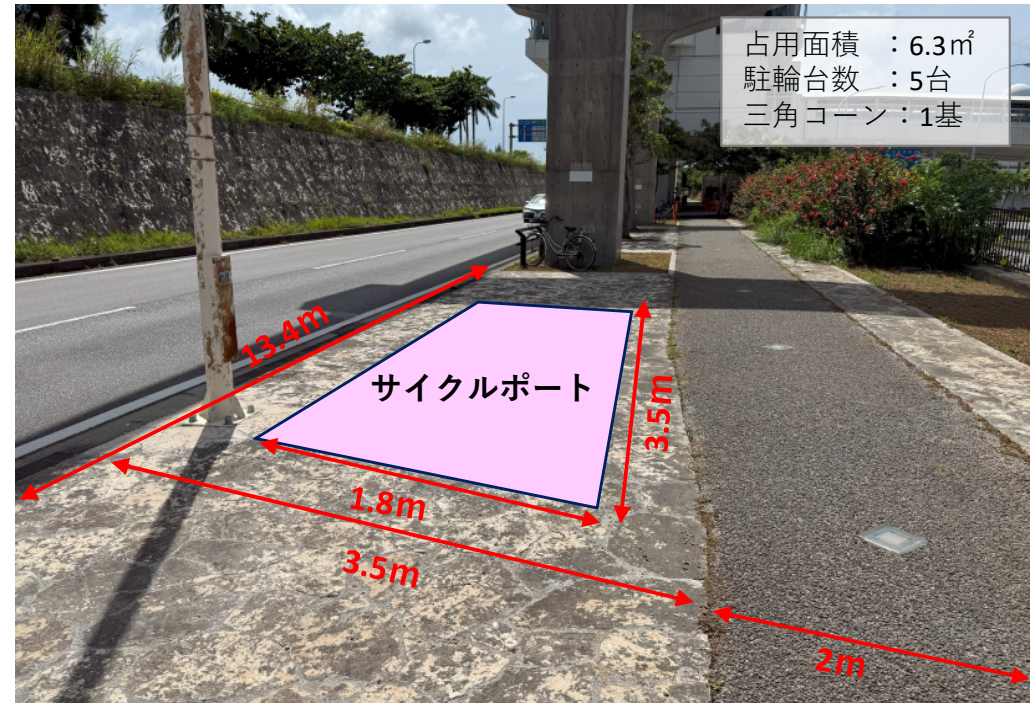
豊見城市



設置イメージ

■ 案②

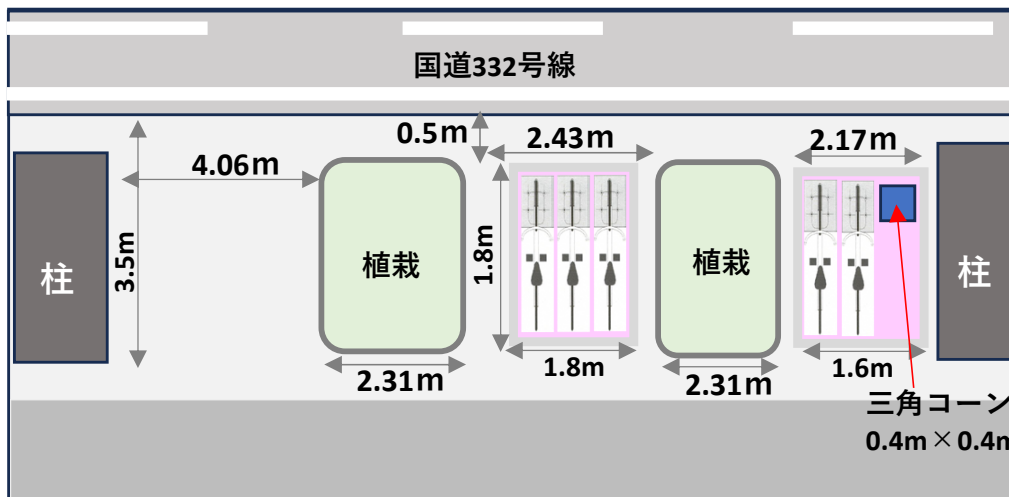
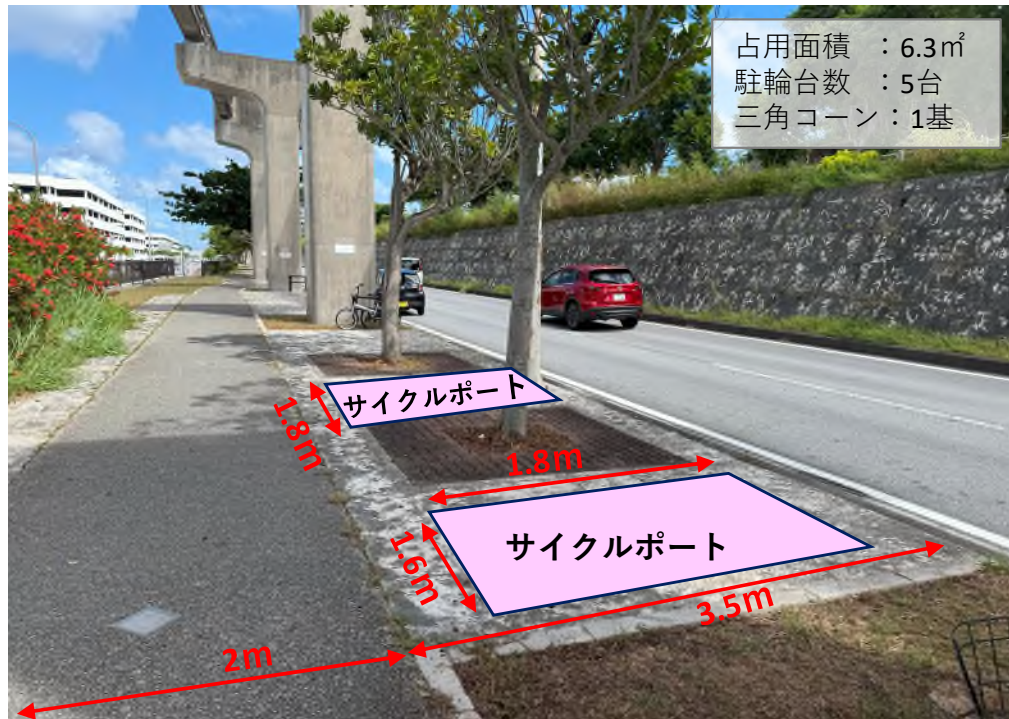
那覇市



設置イメージ

■ 沖縄都市モノレール：那覇空港駅

■ 案③



□ サイクルポート設置における安全対策

- 那覇空港駅でのサイクルポート設置提案箇所においては、車道側へ設置を想定している。シェアサイクル利用者がポートから直接車道へ侵入する恐れがあることから、車道への直接進入抑止対策として、下図のような対策も合わせて検討する必要がある。

□ 対策例（中部商業高校前サイクルポート）

- 中部商業高校前に設置されているサイクルポートでは、ポールとチェーンにおける対策が実施されている。

